

令和5年度 定時総会要項

期 日 令和5年5月24日（水）

会 場 ホテルレイクビュー水戸



学校に元気を 子どもたちにたくましさを 教職員に活力を

一般社団法人 茨城県教育会

令和5年度 定時総会要項 目次

1 議事

第1号議案	令和4年度事業報告に関する件 -----	2
第2号議案	令和4年度収支決算報告並びに監査報告に関する件 -----	6
	1 貸借対照表	6
	2 正味財産増減計算書	7
	3 監査報告	9
第3号議案	令和5年度事業計画（案）並びに予算（案）に関する件 -----	10
	令和5年度事業計画（案）	10
	（資料1）郡市代表者校訪問計画	13
	令和5年度予算案	14
第4号議案	第76回日本連合教育会研究大会茨城大会企画委員会に関する件 -	15
第5号議案	令和6年度からの賛助会員募集に関する件 -----	17
第6号議案	令和4・5年度役員選任に関する件 -----	17
	（資料2）顧問並びに参加一覧	18
	（資料3）表彰状、感謝状受領者一覧	19

2 諸連絡

連絡第1号	第74回日本連合教育会研究大会山口大会への参加について -----	20
連絡第2号	構成団体代表者への協力依頼内容一覧 -----	22
連絡第3号	各種事業の推進委員委嘱一覧 -----	23
連絡第4号	「優秀実践に学ぶ会」開催案 -----	24
連絡第5号	郡市教育会代表者研究協議会（教育講演会）開催要項 -----	25
連絡第6号	教育功績表彰候補者の推薦依頼 -----	26
	（資料4）令和5年度教育功績表彰候補者推薦書	27
	茨城県教育会沿革誌抄 -----	28
	令和5年度構成団体代表者または事務担当者名簿 -----	31

1 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告に関する件

(文中敬称略)

令和4年度事業報告(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 会員募集に関する事業(構成団体別会員数の推移)

	郡 市 教育会	茨城大学 教育学部 附属学校園	茨城県高 等学校長 協会	茨城県高 等学校教頭・ 副校長会	茨城県高 等学校教 員	全国幼児教 育研究協会 茨城支部	県内指導 主事	県内社会 教育主事	茨城県PTA 連絡協議会	合 計
R2	2,751	98	138	0	1	4	191	21	20	3,224
R3	2,754	100	137	4	0	3	202	17	20	3,237
R4	2,706	95	137	2	0	3	201	15	20	3,179
増減	-48	-5	±0	-2	±0	±0	-1	-2	±0	-58

2 教育に関する広報誌等の発行<定款第4条(1)>

(1) 機関誌「茨城教育」の発行、配付

号(発行日)	年間特集主題	副 主 題
第869号(6/20)	令和時代の家庭・地域 とともにある学校づく り	授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実践
第870号(10/20)		多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた工夫 ある取り組み
第871号(2/20)		義務教育学校の現状と成果

(2) 機関誌編集委員会の開催

- ・期 日 令和4年5月18日(水)
- ・内 容 令和4・5年度委員委嘱と編集方針の伝達、執筆者の推薦依頼
- ・委員名 (水戸)阿部 裕美(水戸市立大場小学校 校長)
(県北)佐藤 義明(常陸太田市立太田小学校 校長)
(鹿行)榎本 裕基(神栖市立軽野小学校 校長)
(県南)石崎 和雄(稲敷市立新利根小学校 校長)
(県西)飯田 政子(板東市立中川小学校 校長)
(全幼研)石川真裕美(茨城大学教育学部附属幼稚園 副園長)
(高校)小林 勉(元・茨城県立水戸桜ノ牧高等学校 校長)

3 教育の振興並びに郷土文化の継承発展に資するための各種研究調査<定款第4条(2)>

- (1) 「いばらき教育の日」「いばらき教育月間」シンポジウムへの参加(11月23日オンライン開催)
 - ・日本バレーボール協会 益子 直美 理事
- (2) 機関誌「茨城教育」での『わが郷土の教育遺産(人物・施設)』の連載
- (3) 本会所蔵の教育関係図書等の整理並びにリストの作成

4 教育に関する講演会・研究会・研修会・懇談会の開催及びその他文化活動の後援〈定款第4条(3)〉

(1) 教育座談会の開催

- ・期 日 令和4年10月13日(木)
- ・内 容 県内4地区から推薦された推薦されたパネラーによる「義務教育学校の現状と成果」をテーマにした文書報告
- ・報告者 (水戸) 磯崎 学(ひたちなか市立美乃浜学園 PTA副会長)
長山 達也(白鳥学園那珂立瓜連中学校 校長)
(県北) 倉繁 涼子(日立市立中里小中学校 PTA会長)
梶山 理絵(常陸太田市立里見中学校 教務主任)
(県南) 廣瀬 香(土浦市立新治学園義務教育学校 主規顧問)
谷地 真彦(つくば市立みどりの学園義務教育学校 校長)
(県西) 草間 輝之(筑西市立明野中学校 PTA会長)
坂入 洋子(桜川市立桃山学園 教務主任)
- ・備 考 報告内容を機関誌「茨城教育」第871号(令和5年2月20日発行)に掲載

(2) 郡市教育会代表者研究協議会に係る教育講演会の開催

- ・期 日 令和4年11月11日(金)
- ・講 話 「コミュニティ・スクールと教育イノベーション ～本物にふれる教育の展開～」
講師 笠間市教育委員会 教育長 小沼 公道 先生
※ コロナ禍のため、教育委員会関係者や賛助会員様に参加をご遠慮いただいて郡市代表者のみの参加による開催

5 教育論文の募集と顕彰〈定款第4条(4)〉

(1) 「優秀実践に学ぶ会」(令和3年度の実施予定事業)

- ・期 日 令和4年8月1日(月)
- ・内 容 優秀実践賞受賞者の発表(1名)、グループ協議、講師指導
- ・講 師 茨城大学教授 生越 達 様
「現代社会と教員—未来を作り出す仕事としての教職—」

(2) 若手教員実践記録募集事業

- ・応募数 34点(小:20点、中:11点、高3点)
- ・審 査 一次審査 郡市代表等 12名 郵送での審査
二次審査 茨城大学 生越 達 教授
- ・優秀実践賞 2名
東海村立照沼小学校 萩谷 勇祐 教諭
「児童一人ひとりの居場所となり、安心して生活できる学級づくりの在り方について」
つくばみらい市立伊奈中学校 下田 麻結 教諭
「多様な子どもたちの主体的・対話的で深い学びを実現する英語教育実践」

6 教育功績者の表彰〈定款第4条(5)〉

(水戸) 那珂市 岡部 恒雄

- 立哨指導や環境美化活動を実践し、地域と学校が一つになり子どもを育てる活動を推進し、安全で楽しく活動できる環境づくりに尽力されました。

(県北) 高萩市 鷲 真由美

- 高萩市地域ボランティア「はぎッズサポーター」の一員として、環境美化や小さなコンサートの運営に取り組み、子どもたちの豊かな心の醸成に尽力されました。

(鹿行) 鹿嶋市 鉢っ子サポーター (代表) 所畑 茂 10名

- 永年にわたり地域学校協働活動をとおして学習や体験活動の支援を実践し、地域に生きる健全な子どもたちの育成に尽力されました。

(県南) 取手市 森下 敏清

- 子どもたちへのレスリング競技の指導をとおして、県内の多数の選手の育成にあたりました。全日本ジュニアレスリング大会等の役員・審判員に携わり、本県のレスリング競技の発展に尽力されました。

(県西) 筑西市 伊讚小学校子ども安全推進委員会 (代表) 奈田 善朗 6名

- 永年にわたり学校支援ボランティアの活動をとおして、学校環境の整備・登下校時の見守り・通学路点検等を実践し、子どもたちを地域全体で育成するネットワークづくりに尽力されました。

7 その他本会の目的を達成するために必要な事業 <定款第4条(6)>

(1) 組織の充実強化を図る事業

- ① 広報リーフレットの作成と配付
- ② ウェブページの充実
- ③ 郡市教育会代表者校の訪問 (5年計画の第1年次)
 - 2月7日(火) 牛久市立牛久小学校、龍ヶ崎市立城ノ内小学校
 - 2月8日(水) 行方市立麻生東小学校、日上市立久慈中学校
 - 2月9日(木) 八千代町立八千代第一中学校、桜川市立南飯田小学校
 - 2月16日(木) 笠間市立稲田中学校、小美玉市立小川南小学校

(2) 日本連合教育会に係る事業

① 第73回日本連合教育会研究大会東京大会への参加 **オンラインによる開催**

- ・期 日 令和4年8月18日(木)～19日(金)
- ・会 場 中野サンプラザ(東京都中野区)
- ・内 容 分科会提案者 第9分科会(健康・安全教育)

つくば市立大曾根小学校 教諭 大和田 哲也

② 常任理事会

- ・第1回 令和4年5月13日(金) **オンラインによるリモート会議**
- ・第2回 令和5年1月13日(金) **オンラインによるリモート会議**

③ 拡大常任理事会 令和4年10月14日(金) **オンラインによるリモート会議**

④ 理事会

- ・第1回 令和4年6月24日(金) **オンラインによるリモート会議**
- ・第2回 令和4年8月18日(木) **オンラインと対面によるリモート会議**
- ・第3回 令和5年2月17日(金) **オンラインによるリモート会議**

⑤ 会報への寄稿

- ・第126号(10/31) 東京大会参加者の声「東京大会」に参加して
つくばみらい市立十和小学校 校長 宇津木 千恵美
- ・第127号(2/1) 実践事例「教育改革」を推進する基盤の構築
水戸市立飯富小学校 校長 鈴木 睦

(3) 茨城県教育研究連盟との連携・協力事業

第67回茨城県教育研究連盟研究集会 **Webサイトによる代替開催**

(4) 文部科学省、自由民主党茨城県支部連合会への政策要望書の提出

① 文部科学省への提出 **参加人数を制限して実施**

- ・期 日 令和4年7月15日（金）
- ・場 所 文部科学省大臣官房審議官室
- ・内 容 教育施策要望書提出

② 自由民主党茨城県支部連合会への提出

- ・期 日 令和4年8月29日（月）
- ・会 場 ホテルレイクビュー水戸
- ・内 容 県内39郡市教育会の要望事項を取りまとめ、文教警察部会で説明

(5) 県教育庁総務企画部生涯学習課との連携事業

「すくすく育ていばらきっ子かるた」の委託販売（販売実績 71セット）※販売終了

(6) 出版物の編集、販売事業

① 「茨城県学事関係職員録」

6月／発行、配付（2、159冊）

② 諸表簿・用紙

10月／職員録掲載の幼・小・中・高・特支校に申込用紙を送付

12月／「12月分」発送

1月／卒業証書発送（小学校13校、中学校1校、義務校2校 高校2校、特支校1校）

2月／「2月分」発送

3月／発行・販売反省会

8 各種会議

(1) 定時総会

- ・期 日 令和4年5月19日（木） ※代議員のみでの開催

(2) 業務・会計監査会

- ・期 日 令和4年4月21日（木）
- ・会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館／会議室

(3) 理事会

① 第1回理事会

- ・期 日 令和4年5月11日（水）
- ・内 容 総会提出議案並びに臨時理事会開催案の検討

② 臨時理事会

- ・期 日 令和4年5月19日（木）
- ・内 容 会長、副会長の選定

③ 第2回理事会

- ・期 日 令和5年1月18日（水）
- ・内 容 業務等進捗状況の確認、次年度推進事業案の検討

(4) 賛助会員代表者会

- ・期 日 令和4年4月5日（火）
- ・内 容 賛助会員募集に関する意見、提言の聴取

1 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	62,445	34,077	28,368	
預金	4,649,443	5,555,294	△ 905,851	
未収入金	2,206,280	2,678,561	△ 472,281	
仮払金	76,865	0	76,865	
流動資産合計	6,995,033	8,267,932	△ 1,272,899	
2. 固定資産				
(1)基本財産				
基本財産積立預金	7,750,000	7,750,000	0	
特定預金積立合計	7,750,000	7,750,000	0	
(2)特定資産				
退職給付引当資産	300,000	250,000	50,000	
教育論文募集引当資産	670,054	540,900	129,154	
全国大会引当資産	390,249	349,434	40,815	
特定資産合計	1,360,303	1,140,334	219,969	
(3)その他固定資産				
什器備品	322,698	2	322,696	
その他固定資産合計	322,698	2	322,696	
固定資産合計	9,433,001	8,890,336	542,665	
資産合計	16,428,034	17,158,268	△ 730,234	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,269,307	1,598,948	△ 329,641	
預り金	23,730	23,250	480	
未払法人税等	82,000	82,000	0	
未払消費税等	501,900	535,200	△ 33,300	
流動負債合計	1,876,937	2,239,398	△ 362,461	
2. 固定負債				
退職給付引当金	300,000	250,000	50,000	
教育論文募集引当金	670,054	540,900	129,154	
全国大会引当金	390,249	349,434	40,815	
固定負債合計	1,360,303	1,140,334	219,969	
負債合計	3,237,240	3,379,732	△ 142,492	
III. 正味財産の部				
一般正味財産	13,190,794	13,778,536	△ 587,742	
(うち基本財産への充当額)	(7,750,000)	(7,750,000)	(0)	
正味財産合計	13,190,794	13,778,536	△ 587,742	
負債及び正味財産合計	16,428,034	17,158,268	△ 730,234	

2 正味財産増減計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

正味財産増減計算書

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	155	155	0
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	8	9	△ 1
③ 受取会費			
正会員	7,952,500	8,092,500	△ 140,000
賛助会員	497,500	425,000	72,500
終身会員会費	360,000	300,000	60,000
年額会員会費	137,500	125,000	12,500
協力会費	395,000	465,000	△ 70,000
④ 事業収益			
出版物収入	17,853,233	19,115,639	△ 1,262,406
広告料収入	486,200	450,000	36,200
図書等斡旋料	66,330	66,440	△ 110
⑤ 受取負担金			
受取負担金	282,000	284,000	△ 2,000
⑥ 雑収益			
受取利息	105	98	7
雑収入	100,000	100,000	0
経常収益計	27,633,031	28,998,841	△ 1,365,810
(2) 経常費用			
① 事業費	25,452,344	27,159,793	△ 1,707,449
実施事業			
機関誌発行費	7,227,291	7,818,959	△ 591,668
理事報酬費	3,911,112	4,198,588	△ 287,476
給与手当費	84,000	84,000	0
福利厚生費	1,166,400	1,404,800	△ 238,400
印刷製本費	163,517	201,349	△ 37,832
通信運搬費	1,474,000	1,503,700	△ 29,700
謝礼金支出	492,337	517,782	△ 25,445
会議費	286,547	290,955	△ 4,408
旅費交通費	29,364	13,748	15,616
什器備品費	28,175	13,475	14,700
消耗品費	0	63,929	△ 63,929
行政財産使用料	79,450	5,434	74,016
減価償却費	10,966	10,531	435
賃借料	2,930	3,363	△ 433
雑費	49,646	41,462	8,184
教育振興費	43,780	44,060	△ 280
理事報酬費	2,341,837	2,647,665	△ 305,828
給与手当費	132,000	132,000	0
福利厚生費	1,355,360	1,713,960	△ 358,600
印刷費	245,276	302,024	△ 56,748
通信運搬費	70,500	63,525	6,975
諸謝金	103,587	100,355	3,232
会議費	20,000	20,000	0
旅費交通費	82,213	46,338	35,875
什器備品費	138,507	93,212	45,295
消耗品費	0	4,686	△ 4,686
行政財産使用料	33,410	22,441	10,969
減価償却費	16,450	15,796	654
賃借料	4,395	5,045	△ 650
雑費	74,469	62,193	12,276
研究助成費	65,670	66,090	△ 420
研究助成費	424,850	424,960	△ 110

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
各種表彰費	91,492	86,338	5,154
日連教理事会費	8,000	11,408	△ 3,408
全国大会費	150,000	150,000	0
教育論文募集事業費	300,000	300,000	0
収益事業	18,225,053	19,340,834	△ 1,115,781
給与手当費	5,483,920	5,929,200	△ 445,280
福利厚生費	899,347	1,107,423	△ 208,076
印刷製本費	8,463,109	9,117,377	△ 654,268
通信運搬費	1,649,276	1,791,085	△ 141,809
会議費	151,407	75,618	75,789
旅費交通費	20,088	23,363	△ 3,275
什器備品費	0	17,182	△ 17,182
消耗品費	465,722	192,588	273,134
行政財産使用料	60,318	57,921	2,397
慶弔費	0	5,000	△ 5,000
租税公課	501,900	535,200	△ 33,300
減価償却費	16,119	18,502	△ 2,383
賃借料	273,057	228,045	45,012
雑費	240,790	242,330	△ 1,540
②管理費	2,686,429	3,199,200	△ 512,771
理事報酬費	144,000	144,000	0
給与手当費	1,738,120	2,181,440	△ 443,320
退職給付引当金繰入	50,000	80,000	△ 30,000
福利厚生費	327,035	402,698	△ 75,663
通信運搬費	56,180	74,484	△ 18,304
会議費	55,056	27,496	27,560
旅費交通費	5,850	6,950	△ 1,100
什器備品費	0	6,248	△ 6,248
消耗品費	27,833	10,868	16,965
行政財産使用料	21,933	21,062	871
負担費	3,200	3,200	0
慶弔費	10,000	5,000	5,000
租税公課	10,637	11,636	△ 999
減価償却費	5,860	6,727	△ 867
賃借料	99,292	82,924	16,368
支払手数料	43,873	44,091	△ 218
雑費	87,560	90,376	△ 2,816
經常費用計	28,138,773	30,358,993	△ 2,220,220
当期經常増減額	△ 505,742	△ 1,360,152	854,410
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 505,742	△ 1,360,152	854,410
法人税等	82,000	82,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 587,742	△ 1,442,152	854,410
一般正味財産期首残高	13,778,536	15,220,688	△ 1,442,152
一般正味財産期末残高	13,190,794	13,778,536	△ 587,742
II 正味財産期末残高	13,190,794	13,778,536	△ 587,742

3 監査報告

業務・会計監査に関する報告書

一般社団法人 茨城県教育会
会 長 鹿志村 則男 様

私たちは 一般社団法人茨城県教育会の令和4年度における業務執行状況及び会計処理事項等について監査を行ったので、下記のとおり報告します。

記

- 1 監査対象期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
- 2 監査方法の概要
 - (1) 業務監査については、理事会・総会及び他の会議の記録・関係書類を閲覧し、また会長、事務局長から業務の報告を聴取して必要と思われる監査手続きを用い、業務執行の妥当性を検討した。
 - (2) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧等、必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の妥当性を検討した。
- 3 監査結果と意見
 - (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、会員異動状況報告書等は、会計帳簿記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 事業の職務執行に関する不正の行為、法令若しくは定款に違反する事実はないと認める。

令和5年4月21日

一般社団法人 茨城県教育会

監 事 栗原 和彦



監 事 信田 秀穂



第3号議案

令和5年度事業計画（案）並びに予算（案）に関する件

令和5年度事業計画（案）（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）（文中敬称略）

1 教育に関する広報誌等の発行〈定款第4条(1)〉

(1) 機関誌「茨城教育」の発行、配付

号（発行日）	年間特集主題	副 主 題
第872号（6/20）	家庭・地域とともにある学校づくり	授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実現
第873号（10/20）		多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた工夫ある取り組み
第874号（2/20）		GIGAスクール構想の実現

(2) 機関誌編集委員会の開催

・期 日 令和4年5月16日（火） ※ メール等での打ち合わせ

2 教育の振興並びに郷土文化の継承発展に資するための各種研究調査〈定款第4条(2)〉

みんなで教育を考える

(1) 「いばらき教育の日」「いばらき教育月間」シンポジウムへの参加（11月オンライン開催）

(2) 機関誌「茨城教育」での『わが郷土の教育遺産(人物・施設)』の連載

(3) 本会所蔵の教育関係図書等の整理並びにリストの作成

3 教育に関する講演会・研究会・研修会・懇談会の開催及びその他文化活動の後援〈定款第4条(3)〉

(1) 教育座談会の開催

・期 日 令和5年10月6日（金）

・会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館／会議室

・内 容 「GIGAスクール構想の実現」をテーマに、県内5地区から推薦されたパネラーの話し合いを企画

(2) 郡市教育会代表者研究協議会に係る教育講演会の開催

・期 日 令和5年11月10日（金）（予定）

・会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館／会議室

・内 容 演題「未 定」※「GIGAスクール構想の実現」に関する講演
 （講師） 情報通信総合研究所ICTリサーチ・コンサルティング部
 特別講師 平井 聡一郎 様

・参加者 各郡市教育会代表者または代理者、事前申込みによる聴講希望者

4 教育論文の募集と顕彰〈定款第4条(4)〉

(1) 「優秀実践に学ぶ会」

① 期 日 令和5年8月1日（火）

② 会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館／会議室

- ③ 内 容 「優秀実践賞」受賞作品の発表と分科会協議
 ○ 講師による指導・講評 講師 生越 達 先生(茨城大学大学院教授)
- ④ 参加者 実践記録応募者で所属長から出張を承認された者 34名(優秀実践賞受賞者を含む)
 応募のなかった郡市教育会から推薦された者 19名
 (ただし、本県教員経験10年未満の教諭または講師とする)
 合計 53名

5 教育功績者並びに児童生徒の表彰 <定款第4条(5)>

県内5地区における「教育功績表彰者推薦委員」による名簿により理事会に諮って決定し、次年度定時総会席上にて表彰する。

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業 <定款第4条(6)>

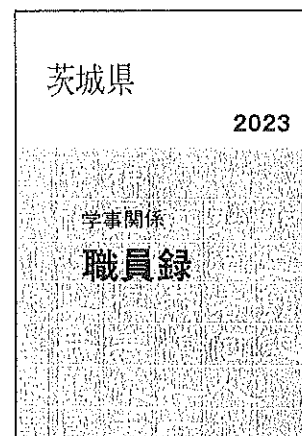
- (1) 広報リーフレットの作成と配付およびウェブページへの掲載
- (2) 郡市教育会代表者校の訪問(5年計画の2年目) <p13(資料1)参照>
- (3) 第74回日本連合教育会研究大会山口大会への参加
 ・期 日 令和5年8月17日(木)～18日(金)
 ・会 場 山口市民会館 他
 ・内 容 分科会提案者 第3分科会(道徳教育)
 桜川市立雨引小学校教諭 口町 紀子
- (4) 県教研連研究集会との連携・協力事業
 「第68回茨城県教育研究連盟研究集会」
 ・期 日 令和5年11月18日(土)
 ・内 容 オンライン開催による23分科会で研究協議
- (5) 賛助会員代表者会
 ・期 日 令和5年4月4日(火)
 ・会 場 茨城県水戸生涯学習センター分館/会議室
 ・内 容 賛助会員募集に関する意見、提言の聴取
 ・出席者 (水戸) 根本 福雄、佐藤加代子 (県北) 星 秀男、田邊 一男
 (鹿行) 土子 俊雄、鈴木 直志 (県南) 倉田 廣之、久松 隆
 (県西) 松崎 茂樹、遠藤 道夫
 (顧問) 小貫 紀久、春田 義邦、高堀 正伸、樋口 浩史

(6) 出版物の編集、販売事業

① 「茨城県学事関係職員録」の編集と販売

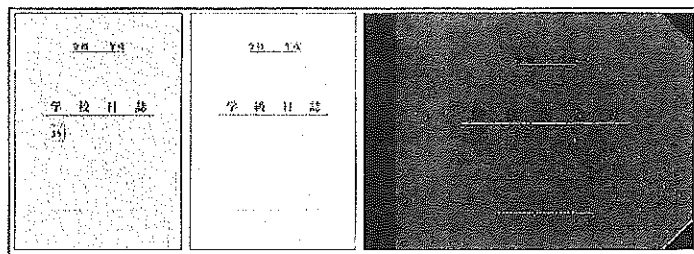
- ・大正時代から100年以上の長きにわたって編集・発行
- ・大正5年（1916年）に発行されたものが最古、現在県立歴史館に収蔵
- ・昭和5、6、8年版は県立図書館、昭和11年版は国立国会図書館に収蔵
- ・昭和24年以降の職員録が事務所に保管され必要に応じて閲覧可能
- ・年間のおもな流れ

- 1月** 印刷・発行事前打ち合わせ会
- 4月** 約1,200の学校や教育関係団体に原稿を送付～集約
- 5月** 一次校正→集約→二次校正→取りまとめ、印刷→製本
- 6月** 発行、配付
- 7月** 発行・販売反省会



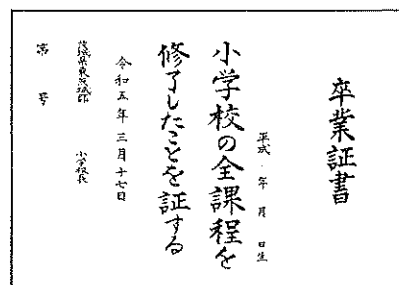
② 表簿・用紙等の編集と販売

- ・学校日誌、保健日誌等の表簿類や指導要録、健康診断票等の用紙類の編集、販売
- ・県教育庁総務課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、保健体育課等の指導を受けながら編集
- ・幼、小、中、義務教育学校、高、特別支援学校等 約400校・園が利用



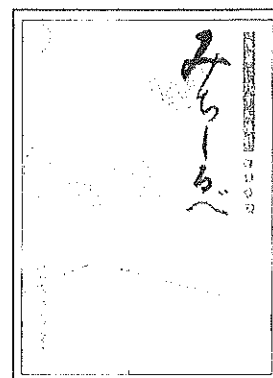
③ 卒業証書の編集と販売

- ・学校単独で準備しなければならない小規模校等に対応して販売
- ・小中学校、義務教育学校、高校・特別支援学校20校程度に販売



④ 「みちしるべ ー後輩に託す応援歌ー」の販売

- ・機関誌「茨城教育」第812号（平成15年6月）から第835号（平成23年2月）にかけて掲載された「後輩に託す応援歌」を編集し、まとめた書籍の販売
- ・平成23年発行



(資料1) 郡市代表者校訪問計画 (令和4年度起)

	郡市名	訪 問 年 度				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	水戸市	緑岡小	第三中			
2	笠間市	稲田中■				
3	ひたちなか市					
4	常陸大宮市					
5	那珂市					
6	小美玉市	小川南小▲				
7	東茨城郡					
8	那珂郡					
9	久慈郡		生瀬小■			
10	日立市	久慈中■				
11	常陸太田市		機初小■			
12	高萩市					
13	北茨城市					
14	鹿嶋市					
15	潮来市		延方小▲			
16	神栖市					
17	行方市	麻生東小▲				
18	鉾田市					
19	土浦市					
20	石岡市					
21	龍ヶ崎市	城ノ内小◆				
22	取手市					
23	牛久市	牛久小◆				
24	つくば市					
25	守谷市		愛宕中◆			
26	稲敷市		東中▲			
27	かすみがうら市					
28	つくばみらい市					
29	稲敷郡		阿見一小◆			
30	北相馬郡					
31	古河市					
32	結城市					
33	下妻市					
34	常総市					
35	筑西市		竹島小●			
36	坂東市					
37	桜川市	南飯田小●				
38	結城郡	八千代一中●				
39	猿島郡		五霞西小●			

※ 水戸市は別扱いとする。

(表中の■▲◆●印は、訪問日の組み合わせを表します)

令和5年度予算(案) (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	5年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 経常収益				
(1) 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
(2) 特定資産運用益				
特定資産受取利息	0	0	0	
(3) 受取会費				
正会員	9,300,000	7,600,000	1,700,000	会費改定のため
賛助会員	320,000	315,000	5,000	
協力会費	380,000	400,000	△ 20,000	
(4) 受取負担金				
受取負担金	282,000	284,000	△ 2,000	水戸市と日立市による
(5) 事業収益				
編集著作事業収益	16,500,000	17,800,000	△ 1,300,000	職員録, 表簿・用紙等の販売収益
図書斡旋事業収益	0	50,000	△ 50,000	「いばらきっ子かるた」販売終了のため
(6) 雑収益				
受取利息	0	0	0	
雑収入	100,000	100,000	0	日本教育公務員弘済会茨城支部から
(7) 協議会支援金				
協議会支援金	0	0	0	
経常収益合計	26,883,000	26,550,000	333,000	
2 経常費用				
(1) 事業費				
実施事業				
機関誌発行事業費	3,974,000	3,797,000	177,000	
給与手当等	1,445,000	1,445,000	0	
印刷製本費	1,525,000	1,480,000	45,000	
通信運搬費	500,000	470,000	30,000	
諸謝金	280,000	260,000	20,000	
会議費	30,000	30,000	0	
旅費交通費	20,000	15,000	5,000	
諸経費	174,000	97,000	77,000	
教育振興事業費	3,026,000	2,932,000	94,000	
給与手当等	2,321,000	2,321,000	0	
印刷費	70,000	65,000	5,000	
通信運搬費	125,000	116,000	9,000	
諸謝金	60,000	55,000	5,000	
会議費	110,000	100,000	10,000	
旅費交通費	170,000	150,000	20,000	
諸経費	170,000	125,000	45,000	
各種表彰事業費	100,000	100,000	0	
諸謝金	25,000	25,000	0	
通信運搬費	5,000	5,000	0	
旅費交通費	10,000	10,000	0	
諸経費	60,000	55,000	5,000	
教育論文募集事業費	300,000	300,000	0	
研究助成事業費	470,000	470,000	0	
全国大会参加事業費	150,000	150,000	0	
日連教理事會費	65,000	65,000	0	
実施事業計	8,085,000	7,814,000	271,000	
収益事業				
給与手当等	5,740,000	5,740,000	0	
印刷製本費	6,920,000	7,000,000	△ 80,000	
通信運搬費	1,750,000	1,700,000	50,000	
会議費	177,500	172,500	5,000	
旅費交通費	20,000	18,000	2,000	
租税公課	600,000	600,000	0	
諸経費	530,000	510,000	20,000	
収益事業計	15,737,500	15,740,500	△ 3,000	
事業費計	23,822,500	23,554,500	268,000	
(2) 管理費				
給与手当等	2,387,000	2,387,000	0	退職給付引当金繰入分を含む
通信運搬費	60,000	50,000	10,000	
会議費	177,500	172,500	5,000	
旅費交通費	20,000	18,000	2,000	
諸経費	325,000	303,000	22,000	賃借料, 支払手数料等を含む
管理費計	2,969,500	2,930,500	39,000	
(3) 予備費	91,000	65,000	26,000	
経常費用合計	26,883,000	26,550,000	333,000	

第76回日本連合教育会研究大会茨城大会企画委員会設置要項

一般社団法人茨城県教育会

1 目的

令和7年度に水戸市において開催する標記研究大会茨城大会の具体的内容について、令和4年度開催の準備委員会の検討結果を受けて、より具体的な大会の実像を形成するとともに本大会開催の趣旨及び内容等についての広報をとおして、各構成教育会並びに団体への理解の浸透を図ることを主たる目的として本委員会を設置する。

2 検討内容

本委員会における検討内容については下記のとおりとする。

- (1) 開催期日及び会場の確認と検討について
- (2) 大会主題及び主題設定の確認と検討について
- (3) 設定分科会の決定と各分科会の協議題及び協議題設定の理由について
- (4) パネルディスカッション(シンポジウム)の協議題及び協議題設定の理由について
- (5) 記念講演講師の選定について
- (6) 大会の日程について
- (7) 大会の規模について
- (8) 大会までのスケジュールの概要作成について
- (9) 大会の広報について
- (10) その他

3 委員会の構成

(1) 委員会の構成

- ① 令和4年度大会準備委員会委員は原則として企画委員会委員に移行する。
- ② 構成教育会及び団体の代表を選出する。

(2) 委員の任期

本企画委員会委員の任期は令和5年度の1年間とし、令和6・7年度は実行委員会へ移行するものとする。

(3) 委員の委嘱

本委員会委員は茨城県教育会の構成教育会及び団体に推薦を依頼し、茨城県教育会が委嘱するものとする。なお、本委員会事務局を茨城県教育会事務局に置くものとする。

【委員】

- ① 令和4年度大会準備委員会委員 6名(敬称略)
 - 志賀正章(水戸市立常磐小学校長)
 - 阿部裕美(水戸市立大場小学校長)
 - 猪野典子(水戸市立緑岡小学校長)
 - 小沼信行(水戸市立見川小学校長)
 - 佐藤加代子(茨城県教育会賛助会員代表)
 - 春田義邦(茨城県教育会顧問代表)

② 構成教育会及び団体代表

17 名

	水戸	県北	鹿行	県南	県西	関係団体
教育会 団体数	9	4	5	12	9	5
団体名	水戸市 笠間市 ひ たちなか市 常陸 大宮市 那珂市 小美玉市 那珂郡 東茨城郡 久慈郡	日立市 常陸太田市 高萩市 北茨城市	鹿嶋市 潮来市 神栖市 行方市 鉾田市	土浦市 石岡市 龍ケ崎市 取手市 牛久市 つくば市 守谷市 稲敷市 かすみがうら市 つくばみらい市 稲敷郡 北相馬郡	古河市 結城市 下妻市 常総市 筑西市 坂東市 桜川市 結城郡 猿島郡	茨城大学附属校・園 高校長協会 全・幼・研茨城支部 県内指導主事・社教主 事 PTA連絡協議会
委員数	4	2	2	4	3	2

※ 委員の選出については、校長会・教育研究会・各団体等に協力を依頼する。

4 委員会の開催

(1) 日 時 (予定)

- ① 令和5年 6月14日(水) 午後 2時 ～ 4時
- ② 令和5年 8月 9日(水) 午後 2時 ～ 4時
- ③ 令和5年10月11日(水) 午後 2時 ～ 4時
- ④ 令和5年12月 6日(水) 午後 2時 ～ 4時
- ⑤ 令和6年 2月 7日(水) 午後 2時 ～ 4時

※ なお、企画委員会開催回数については、検討の進捗状況により別途検討することとする。

(2) 会 場

茨城県水戸生涯学習センター・分館2階 会議室

〒310-0911 水戸市見和1-356-2 Tel. 029-221-2747

5 その他

本企画委員会に係る諸経費については、茨城県教育会において負担するものとする。

報告 令和5年度 基本財産積立預金の執行について

1 昨年度の第1回理事会において、基本財産積立預金775万円については第76回日本連合教育会教研究大会茨城大会の費用に充てることは承認を得、定時総会においても承認を得ている。

2 今年度の基本財産積立預金の執行は以下のとおりとする。

○ 企画委員会関係費	60,000 円	×	5回	=	300,000 円
○ 通信費等	5,000 円	×	5回	=	25,000 円
合 計					325,000 円

第5号議案 令和6年度からの賛助会員募集に関する件

1 法律改正の内容

- 令和5年度末退職者から、定年退職年齢61歳に引き上げられる。2年ごとに1歳引き上げ、令和13年4月からは65歳定年となる。
- 60歳に達した管理職は、その年度末で役職定年となり、次年度以降は教諭として勤務する。

2 定年延長による影響

- 令和5年度末の定年退職者はいないことになり、賛助会員加入依頼ができない。これは、2年に1度起こってくる事態となる。

3 対応策

- 賛助会員募集対象者を、役職定年を迎えた管理職者等として加入推進を図る。

第6号議案 令和4・5年度役員選任に関する件

(文中敬称略)

1 理事推薦 (10名中5名補充)

- | | |
|---|----|
| 理事 鹿志村 則 男 (一般社団法人 茨城県教育会 会長) | |
| 理事 古 橋 賢 治 (水戸市教育会 会長/水戸市立第三中学校 校長) | 補充 |
| 理事 白 土 毅 (茨城県高等学校長協会 協会長/茨城県立石岡第一高等学校 校長) | 補充 |
| 理事 助 川 公 継 (茨城女子短期大学 副学長) | |
| 理事 小 林 ゆかり (水戸市歯科医師会 理事/こばやし歯科 副院長) | |
| 理事 野 崎 英 明 (茨城大学教育学部 学部長) | |
| 理事 畠 山 佳 樹 (茨城県PTA連絡協議会 会長) ※令和5年6月4日退任予定 | |
| 理事 () (茨城県PTA連絡協議会 会長) ※令和5年6月4日就任予定 | 補充 |
| 理事 志 賀 正 章 (茨城県学校長会 会長/水戸市立常磐小学校 校長) | 補充 |
| 理事 櫻 井 千 洋 (茨城県学校長会 副会長/筑西市立下館中学校 校長) | 補充 |
| 理事 日下部 秀 雄 (一般社団法人 茨城県教育会 顧問) | |

2 監事

- | | |
|----------------------------|--|
| 監事 栗 原 和 彦 (水戸市立河和田小学校 校長) | |
| 監事 信 田 秀 穂 (日立市立櫛形小学校 校長) | |
- ※ 任期は、令和6年度定時総会の終結の時までとする。

定 款 (抄)

第5章 役 員 等

(役員 の 設 置)

第19条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3名以上15名以内

(2) 監事 3名以内

2 理事のうち1名を会長とし、会長以外の理事のうち2名を副会長とする。

3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員 の 選 任)

第20条 理事および監事は、総会の決議によって選任する。

2 会長、副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

— 中 略 —

(役員 の 任 期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(資料2) 顧問並びに参加一覧

(文中敬称略)

□ 顧 問	清 水 千 壽	元会長	任期中
	小 貫 紀 久	元会長	任期中
	春 田 義 邦	元会長	任期中
	高 堀 正 伸	元会長	任期中
	樋 口 浩 史	前会長	任期中

□ 参 与

○ 令和4年度総会から令和6年度総会まで

稲野邊 親 元副会長

石 井 純 一 元副会長

荒 川 智 元理事

大 塚 昌 弘 元理事

岩 田 利 美 元理事

○ 令和5年度総会から令和7年度総会まで

猪 野 典 子 副会長(令和4年度)

高 村 祐 一 副会長(令和4年度)

内 田 和 子 理事(令和4年度)

茂 木 政 則 理事(令和4年度)

(資料3) 表彰状、感謝状受領者一覧

(文中敬称略)

- 1 教育功績者として表彰される団体または個人（2団体・3個人）
 - (水戸) 個人<那珂市> 岡部 恒雄
 - (県北) 個人<高萩市> 鷺 真由美
 - (鹿行) 団体<鹿嶋市> 鉢っこサポーター (代表 所畑 茂)
 - (県南) 個人<取手市> 森下 敏清
 - (県西) 団体<筑西市> 伊讚小学校子供安全推進委員会 (代表 奈田 善朗)

- 2 退任する役員（4名）
 - 副会長 猪野 典子(令和5年5月24日退任)
 - 副会長 高村 祐一(令和5年5月24日退任)
 - 理事 内田 和子(令和5年5月24日退任)
 - 理事 茂木 政則(令和5年5月24日退任)

- 期 日 令和5年8月17日(木)～18日(金)
○ 会 場 山口市民会館 他

令和5年4月吉日

日本連合教育会 会長 佐藤 利弘
(一財)山口県教育会 会長 倉増 誠彦

第74回 日本連合教育会研究大会山口大会 (ご案内) 第50回 山口県教育県民大会

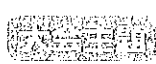
皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

日本連合教育会は、昭和24年発足以来、常に中正不偏の教育実践を念頭に、世界の平和と人類の福祉に貢献できる日本人を育成するために真摯な取組を続け、第74回研究大会を山口県で開催する運びとなりました。併せて、本大会は、例年催している「山口県教育県民大会」を兼ねての開催といたします。

今日、高度な技術革新や情報化等により、社会は激しく変化し先行きを見通すことが難しくなるとともに、超少子高齢化や危機管理、環境問題等が複雑に絡み合い、ますます不透明さを増しています。今回の大会では、これらの変化から可能性を見つめ、人間らしく積極的に明日の日本を創造する子供の育成を求め、大会主題を「時代の変化を前向きに捉え 志高く人間性豊かに未来を創造する日本人の育成」としました。

県内の先生方、保護者、地域の皆様をはじめ、全国各地から多くの皆様にご参加いただき、未来を担う子供たちの育成と成長について語り合うことができますよう心からお待ち申し上げ、ご案内いたします。

開 催 要 項



時代の変化を前向きに捉え

志高く人間性豊かに未来を創造する日本人の育成

- 1 主催 日本連合教育会 (一財)山口県教育会
2 後援 文部科学省 山口県 山口県教育委員会 山口市 山口市教育委員会
山口県都市教育長会 山口県町教育長会 山口大学 山口県立大学
(公財)山口県ひとつくり財団 (公財)日本教育公務員弘済会山口支部
山口県青少年育成県民会議 (一財)山口大学教育学部同窓会
山口県小学校長会 山口県中学校長会 山口県高等学校長協会
山口県公立学校教頭会 山口県退職校長園長会 山口県公立高等学校等退職校長会
山口県退職公務員連盟 山口県PTA連合会 山口県公立高等学校PTA連合会
山口県私立中学高等学校PTA連合会 山口県国公立幼稚園・こども園連盟
(公財)山口県私立幼稚園協会 山口県国公立幼稚園PTA連合会
(一財)山口県保育協会 (一社)山口県子ども会連合会 山口県公民館連合会
(公財)松風会 山口県社会教育委員連絡協議会 (公社)日本教育会山口県支部
KRY山口放送 y a b山口朝日放送 t y s テレビ山口

3 期 日 令和5年8月17日(木)・18日(金)

4 会 場

- (1) 理 事 会 セ ン ト コ ア 山 口 (山口市湯田温泉3-2-7) TEL 083-922-0811
レセプション
(2) 青年教師の会 防 長 苑 (山口市熊野町4-29) TEL 083-922-3555
交 流 会
(3) 全 体 会 山 口 市 民 会 館 (山口市中央2-5-1) TEL 083-923-1000
(4) 分 科 会 山 口 市 民 会 館 (山口市中央2-5-1) TEL 083-923-1000
山 口 県 教 育 会 館 (山口市大手町2-18) TEL 083-922-0383
山 口 県 社 会 福 祉 会 館 (山口市大手町9-6) TEL 083-924-1025
中 市 コ ミ ュ ニ テ ィ ー ホ ー ル (山口市中市町3-13) TEL 083-925-1617

5 日程

					15:00	15:30		17:20	17:30	19:00
8月17日 （休）					受付	日連教理事会	休憩	レセプション		
						青年教師の会	移動	交流会		
	8:30	9:00	9:45	10:10	10:20	11:30	12:10	13:30		16:30
8月18日 （休）	受付	開会式	全体会	休憩	記念講演	アトラクション	移動 昼食	分科会		

6 大会内容

- (1) 開 会 式 挨拶・祝辞・表彰等
- (2) 全 体 会 日本連合教育会会務報告 大会主題設定の趣旨説明
大会宣言文採択 次期開催地愛媛県教育会挨拶
- (3) 記 念 講 演 講師：東京 2020 パラリンピック女子マラソン金メダリスト
道下美里 様
演題：チームでつかんだ金メダル
- (4) アトラクション 維新劇・創作ミュージカル
「SHOWIN ～若き志士たち～」特別バージョン
S・Rやまぐち SHOWIN ユニット
- (5) 分 科 会

No.	分科会名	協 議 題	提案 教育会	会 場
1	学 習 指 導	ICT機器の効果的な活用と「主体的・対話 的で深い学び」の実現による授業改善	滋賀県 山口県	山口市民会館 (小ホール)
2	教 育 課 程	「令和の日本型学校教育」の構築をめざす 教育課程の編成	信 濃 山口県	山口県社会福祉会館 (4階大ホール)
3	道 徳 教 育	人として他者とともによりよく生きる子供を 育てる道徳教育の推進	茨城県 香川県 山口県	山口県教育会館 (5階第1研修室)
4	生 徒 指 導	「チーム学校」で取り組む生徒指導の推進	呉 市 山口県	中市コミュニティーホール (2階会議室A・B)
5	特 別 支 援 教 育	生きる力を共に高め合う特別支援教育の推進	富山県 山口県	中市コミュニティーホール (1階多目的ホールA)
6	人 権 教 育	人間尊重の精神に立った人権教育の推進	栃木県 山口県	中市コミュニティーホール (1階多目的ホールB)
7	健康・安全教育	健康・安全課題の解決に主体的に対応できる 子供の育成	愛媛県 山口県	山口県教育会館 (5階第2・3研修室)
8	外 国 語 教 育	グローバル人材の育成をめざす外国語教育の 推進	長崎県 山口県	山口県教育会館 (3階第4研修室)
9	幼 児 教 育	未来を豊かに生きる力の基礎を培う幼児教育 の推進	東京都 山口県	山口県社会福祉会館 (3階第1会議室)
10	学校・家庭・地域の 連携（シンポジウム）	人づくりと地域づくりの好循環を創出する 地域連携教育の推進	徳島県 山口県	山口市民会館 (大ホール)

7 参加予定者 約800名（県外350名 県内450名）

8 大会参加費 3,500円（昼食代を含む）

連絡第2号 構成団体代表者への協力依頼内容一覧

No.	協力を依頼する内容	予定期日	具体的な依頼内容
1 ㊸	会員募集案内文書の配付	4月上旬～	・代表者校宛てに届いた会員募集案内を郡市内各校に配付 ・会費の取りまとめと振込（6月末締切）
2 ㊸	郡市教育会組織の報告	4月末日までに	・「郡市教育会の役員及び事務局等に関する報告用紙」による報告（「学事関係職員録」作成基礎資料となる）
3 ㊸	日本連合教育会（以下「日連教」と表記）山口大会参加者の推薦	5月19日（金）までに	・貴郡市から参加を推薦する氏名の報告 ※ 今年度は、39郡市の内20郡市に割り当て
4	定時総会への出席 ★	5月24日（水）	・貴団体を代表しての議決権の行使
5	各種委員の委嘱	5月24日（水）	・p23 連絡第3号 を参照
6	大山口会参加者事前打合せ会	6月2日（金）	・参加分科会の調整、参加についての確認等
7	機関誌「茨城教育」872号配付	6月20日発行	・届いた会員数分を各学校へ配付
8	いばらき自民党への政策要望内容の報告	7月3日（月）までに	・担当委員は各ブロック内教育会の要望を取りまとめ報告（文書が届き次第、該当推進委員に通知）
9	第74回日連教山口大会への参加	8月18日（金）	・大会全体会及び分科会への参加
10	「優秀実践に学ぶ会」（8月1日） 連絡第4号 p24への出席者推薦	6月30日（金）までに	・応募のなかった郡市教育会から、1名ずつ推薦（ただし、本県採用おおむね10年未満の教諭または講師）
11	教育座談会出席者の推薦	7月31日（月）	・10月6日（金）開催「教育座談会」への出席者を推薦
12	機関誌「茨城教育」873号配付	10月20日発行	・872号同様の対応
13	郡市教育会代表者研究協議会に係る教育講演会 ★	11月10日（金）	・p25 連絡第5号 を参照 ・郡市教育会代表者研究協議会「いばらき教育の日」月間事業として開催
14	教育功績表彰候補者の推薦	12月8日（金）までに	・p26 連絡第6号 を参照 ・貴郡市の推薦候補者を各管内取りまとめ委員へ報告 ・取りまとめ委員は、1名（1団体）を事務局へ推薦
15	機関誌「茨城教育」874号配付	2月20日発行	・872号同様の対応
16	次年度代表者への引き継ぎ	3月中・下旬	

※ 表記内容は令和5年5月時点での計画であり、今後内容等を変更する場合があります。

※ ★印のついている事業は、旅費主催者負担で開催します。

※ 各文書等の発信を、原則として「県教育情報ネットワーク」学校代表アドレスを利用して行います。ご理解のうえご協力くださいますようお願いいたします。

連絡第3号 各種事業の推進委員委嘱一覧

()内表記は各事務所管内取りまとめを表す

		郡市代表者 校訪問	8 政策要望 取りまとめ	9 山口大会 参加	10 優秀実践に学会 出席者推薦	11 座談会出 席者推薦	12 教育 講演会	13 教育功績表彰候補者 推薦取りまとめ
1	水戸市	●三中		●			●	
2	笠間市				●		●	
3	ひたちなか市			●			●	
4	常陸大宮市					●	●	
5	那珂市			●	●		●	
6	小美玉市						●	
7	東茨城郡			●			●	●(水戸)
8	那珂郡		●(水戸)				●	
9	久慈郡	●生瀬小		●			●	
10	日立市						●	●(県北)
11	常陸太田市	●機初小		●			●	
12	高萩市		●(県北)		●		●	
13	北茨城市			●	●	●	●	
14	鹿嶋市		●(鹿行)				●	
15	潮来市	●延方小		●	●		●	
16	神栖市					●	●	
17	行方市			●	●		●	●(鹿行)
18	鉾田市				●		●	
19	土浦市		●(県南)	●			●	
20	石岡市					●	●	
21	龍ヶ崎市			●	●		●	
22	取手市						●	
23	牛久市			●	●		●	
24	つくば市						●	●(県南)
25	守谷市	●愛宕中		●	●		●	
26	稲敷市	●東中			●		●	
27	かすみがうら市			●	●		●	
28	つくばみらい市						●	
29	稲敷郡	●阿見一小		●			●	
30	北相馬郡						●	
31	古河市			●	●		●	
32	結城市			●	●	●	●	
33	下妻市						●	●(県西)
34	常総市			●	●		●	
35	筑西市	●竹島小			●		●	
36	坂東市				●		●	
37	桜川市			●	●		●	
38	結城郡		●(県西)		●		●	
39	猿島郡	●五霞西小		●			●	
40	茨大附属学校・園						●事前申込	
41	県高校長協会						●事前申込	
42	全幼研県支部						●事前申込	
43	県内指導主事						●事前申込	
44	県内社教主事						●事前申込	
45	県 P 連						●事前申込	

連絡第4号 「優秀実践に学ぶ会」開催案

1 ねらい

- (1) 優秀実践賞受賞者の発表を出席者が持ち帰り、仲間と共有することで各々の指導力、教師力を高めようとする意識を醸成する。
- (2) 講話により、若手教員が大切にしなければならないことについて理解を深め、今後の教育活動に一層意欲をもって取り組んでもらえるようにする。

2 日 時 令和5年8月1日(火) 13時30分～16時30分

3 会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館/会議室(予定)

4 出席者 49名

- (1) 若手教員実践記録応募者(ただし、勤務校の校長からの出張承認者) 34名
※ 優秀実践賞受賞者を含む
- (2) 応募のなかった郡市教育会からの推薦者(19郡市から各1名) 19名<p23 10 参照>
※ ただし、本県教員経験10年未満の教諭または講師を推薦願います。
計 53名

5 内 容

- (1) 開会行事
 - 主催者あいさつ(講師紹介を含めて)
- (2) 「優秀実践賞」受賞作品の発表(50分)
 - 優秀実践賞受賞者による発表
- (3) 分科会協議(60分)
 - 1グループ4名～6名による分科会のグループ編成と主体的な進行
 - 基本テーマ 「優秀実践者の実践から学んだこと」
- (4) 講師による指導・講評(60分)
 - 講師 生越 達先生(茨城大学大学院教授)
 - 前回の内容(令和4年度)
演題/現代社会と教員 ～未来を作り出す仕事としての教職～
- (5) 閉会行事

6 実施上の配慮事項

- (1) 出席者の決定について
 - 令和4年度の応募者は基本的には全員出席とするが、新年度の所属長に照会し、出欠の意思を確認する。
 - 令和4年度に応募のなかった郡市からは、「優秀実践に学ぶ会」出席者推薦委員により各郡市内1名の推薦をいただく。
 - 出席者の旅費は、主催者の負担とする。
- (2) 分科会のグループ編成について
 - 可能な範囲で出席者の郡市別、小中別等を考慮してグルーピングし、活発な意見交換ができるようにする。
- (3) 将来教員を目指す大学生等をオブザーバーとして会場に迎え、「茨城の若手教員」の熱意にふれさせたい。

連絡第5号 郡市教育会代表者研究協議会（教育講演会）開催要項

1 ねらい

本県に組織されている39の郡市教育会の代表者が一同に会し、各郡市教育会相互の現状や課題についての情報交換を行ったり、研修会に参加したりすることでの確かな情報入手の機会とする。

2 これまでの実績と今年度の予定

年 度	研修会の講師等	演 題	会場
平成26年度	内閣府教育再生実行会議 委員 貝ノ瀬 滋 先生	創立130周年記念事業「どうなる日本の教育」	水戸市総合教育研究所
平成27年度	日本連合教育会 会長 後藤 正幸 先生	「あすなろの教師生活一夢と希望と自信と自負と一」	つくば国際会議場大会議室
平成28年度	茨城大学教育学部 学部長 生越 達 先生	「これからの学校をどのようにつくっていけばよいか」	茨城教育会館
平成29年度	文部科学省初等中等教育局 視学委員 貝ノ瀬 滋 先生	「次世代の学校」づくりと新教育課程	茨城教育会館
平成30年度	文部科学省初等中等教育局 視学委員 貝ノ瀬 滋 先生	新学習指導要領と新しい教育動向	茨城教育会館
令和元年度	文部科学省総合教育政策局 専門職 西 祐樹 先生	持続可能な学校づくりと地域づくり(コミュニティ・スクール)	茨城教育会館
令和2年度	(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止)		
令和3年度	笠間市教育委員会 教育長 小沼 公道 先生	学校の社会化～学校・家庭・地域社会の連携とは～	県生涯学習センター分館
令和4年度	笠間市教育委員会 教育長 小沼 公道 先生	コミュニティ・スクールと教育イノベーション ～本物にふれる教育の展開～	県生涯学習センター分館
令和5年度	情報通信総合研究所ICTリサーチ・コンサルティング部 特別講師 平 井 聡一郎	「 未 定 」 ※ G I G Aスクール構想の充実に関する内容	県生涯学習センター分館

3 主 催 一 社 団法人 茨城県教育会

5 日 時 令和5年11月10日（金）13時30分

6 会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館 / 2階

7 参加者 会場の都合により約50名を予定

- (1) 郡市教育会代表者 39名
- (2) 参加を希望する賛助会員等（事前申込みによる）
- (3) 市町村教育委員会指導主事・社教主事等（事前申込みによる）

8 その他

・会場、日時は、講師等の都合により変更する場合がある。

連絡第6号 教育功績者表彰候補者の推薦依頼

1 事業の根拠

定款 第2章（目的および事業）第4条（事業）の（5）教育功績者並びに児童生徒の表彰

2 表彰規定（抜粋）

(1) 被表彰者

- 地域教育の振興に尽力した者
- 学校・園の教職員並びに一般

【例】

- ・地域の読書活動・環境浄化活動等の普及・推進に尽力している個人・団体
- ・地域の芸術・文化・スポーツ活動等の普及・推進に尽力している個人・団体
- ・地域の青少年健全育成活動等の普及・推進に尽力している個人・団体
- ・園・学校等の教育活動を支援するボランティア活動を推進している個人・団体
- ・その他

(2) 該当者の推薦と決定

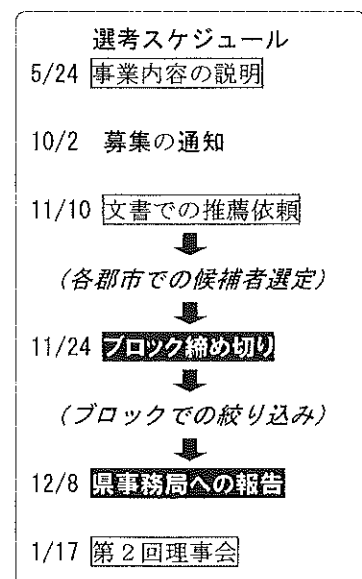
- ① 各学校長は、別紙様式1「教育功績者表彰候補者推薦書」により、令和5年11月10日（金）までに各郡市教育会代表者に提出する。（各校1名か1団体以内とする）
- ② 郡市教育会代表者は、郡市内の推薦候補者の順位付けをして、各ブロックの教育功績表彰候補者推薦委員へ別紙様式1「教育功績者表彰候補者推薦書」を提出する。
- ③ 全県を5ブロックに分け、毎年全5ブロックから該当者の推薦をいただく。各ブロックの教育功績表彰候補者推薦委員が該当ブロックの各郡市代表者の報告をもとに推薦に当たる。
- ④ 教育功績表彰候補者推薦取りまとめ委員は、推薦の順位付けをして別紙様式1「教育功績者表彰候補者推薦書」、候補者集計表により、令和5年12月8日（金）までに教育会事務局へ提出する。
- ⑤ 推薦のあった者を理事会において審議し、該当者を決定する。（各ブロック1名か1団体）

(3) 表彰

- ① 対象は原則として県全体で5名程度
- ② 表彰は、次年度の本会定時総会の席上
- ③ 表彰内容は、総会要項及び機関誌「茨城教育」誌上で紹介
- ④ 賞状並びに記念品を贈呈

3 令和5年度表彰対象候補者の選考スケジュール

- (1) 令和5年5月24日（水） 定時総会において、事業内容の説明と推薦依頼
- (2) 10月2日（月） 教育情報ネットワーク等で、各学校へ募集の通知
- (3) 11月10日（金） 郡市教育会代表者研究協議会で各郡市代表者に推薦依頼の再確認
- (4) 11月24日（金） 各郡市代表者によるブロック取りまとめ委員への報告締め切り
- (5) 12月8日（金） ブロック取りまとめ委員による事務局への報告締め切り
- (6) 令和6年1月17日（水） 第2回理事会において表彰対象者の承認
- (7) 5月22日（水） 令和6年度定時総会において表彰



(資料4) 教育功績者表彰候補者推薦書
別紙様式1

教育功績者表彰候補者推薦書

令和 年 月 日

ブロック 水戸・県北・鹿行・県南・県西 (ブロック名を○で囲んでください)	推薦者	学校名	
		職・氏名	

ふりがな 候補団体名と代表者名 または個人候補者名			性別	年齢
			男 女	歳
候補者住所 並びに連絡先	住 所			
	郵便番号	電 話		
活動人数	活 動 期 間		同活動に対する過去の受賞歴がなく、かつ現在も活動が継続中であることをご確認ください。	
	(平成 年～令和 年)・ 年間			
功 績 の 概 要				
活動のあらまし				
おもな活動 (簡条書きで)				
推薦者所見 (活動の成果や貢献度を中心に表記してください)				

茨城県教育会沿革誌抄

年月日	沿革概要
明治17. 1. 5	茨城県師範学校において「茨城教育協会」発会式挙行 この日をもって本会創立の日とする
17. 3. 12	『茨城教育協会雑誌』第1号創刊 事務所を水戸市上市大町28番地に置く
24. 4. 26	30日まで開催された第1回全国教育聯合会（東京）に本会代表を派遣する
28. 8.	茨城教育協会主催「第1回夏期講習会」を開催 278名の修了生を出す
33. 4.	県より補助を受け准教員養成講習会を開く
34. 1	茨城県教育協会と各郡の教育会が同盟し「茨城県聯合教育会」を組織する
40. 3. 21	「小学校令」改正 41年度より義務教育を6年に延長し中・高女入学資格が6年卒業となる
41. 4. 1	県内郡市教育会に学力向上のため茨城教育協会との大同団結の機運が高まる 茨城教育協会を改組「茨城県教育会」と改称し新会則を制定 会長に茨城県知事、副会長には茨城県（男女）師範学校長が就任
	従来機関誌「茨城教育協会雑誌」を『茨城教育』と改名し第286号として発刊する
41. 7.	事務所を水戸市三の丸39番地より県庁内に移す
41. 10. 25	茨城県教育会教員大会として第1回総会を県議会議事堂にて開催する
42. 10. 1	7日まで第7回関東連合教育会を女子師範学校にて開催し同校にて教育品展覧会を開く
43. 4.	師範学校及び女子師範学校校舎の一部を借り受け修業年限1か年の准教員養成所並びに裁縫専科教員養成所を開設する
大正7. 5.	女子師範学校内に修業年限2か年の女子尋常小学校本科正教員養成所を開設する
11. 4.	児童月刊雑誌『旭』を創刊する
11. 10.	『茨城教育』学制発布五十周年記念号を発行する
13. 3. 26	28日まで茨城県師範学校において第20回関東連合教育会を開催する
13. 4.	夜間中学「弘道学院」を水戸中学校内へ開設する
14. 3. 24	26日まで茨城県教育改善案発表会並びに資料展示会を開催する
14. 4. 3	『茨城県教育改善案』を刊行する
昭和5. 10. 24	教育勅語渙発40周年記念事業として「教育会館建設の議」が起こり茨城師範学校において臨時総会を開く
6. 11.	県知事より合同による茨城会館建設要請があり会館建設合同協議会を設置する
7. 10. 14	16日まで県立水戸高等女学校において第27回関東連合教育会を開催する
10. 4.	茨城会館共同使用に関する覚書の交換をする
10. 5. 18	茨城県教育会創立五十周年記念式典並びに茨城会館落成祝賀会を挙げる
13. 4. 9	教育会総会にて「国民精神総動員運動」の趣旨実現に対する宣言を行う
14. 9. 20	本県教育の目標を明らかにした「茨城県教育綱領」が公布される
16. 4.	初等教育部会、中等教育部会の他に国民教育部会、科学研究教育部会を設け戦時即応の研究体制を立てる
16. 12. 8	太平洋戦争始まる
17. 3.	社会法人茨城県教員互助会を本会に合併する
19. 5.	帝国教育会が改組されて「大日本教育会」となり本会はその支部となる
19. 9. 1	創刊から第720号まで継続してきた雑誌『茨城教育』を休刊する
20. 8. 15	ポツダム宣言を受諾 終戦
21. 8.	連合軍最高司令部より大日本教育会の改組が命ぜられる
23. 10. 27	「茨城県教育会」が県下教職員の新しい民主的団体として改組発足する
30. 10. 27	29日まで終戦後新たに設立した第7回日本連合教育会研究大会水戸大会を開催する（参加800名）
33. 1. 1	6・3制10周年記念事業として『茨城県教育史』（上巻）を刊行する
35. 1. 1	『茨城県教育史』（下巻）を刊行する
39. 9. 17	連研（茨城県連合教育研究会）と教研（茨城県教職員組合）が発展的に統合し茨城県教育研究連盟が結成される
40. 10. 28	29日まで第17回日本連合教育会研究大会水戸大会を開催する（参加1,000名）
42. 3.	雑誌『茨城教育』730号を復刊する
46. 1.	『茨城教育』736号発行以後再び休刊となる
48. 10. 4	6日まで第25回日本連合教育会研究大会茨城大会を開催する（参加1,168名）
56. 12.	『茨城教育』第747号を復刊 以後今日まで年3回の定期刊行となる

昭和62.10.15	18日まで第39回日本連合教育会研究大会茨城大会を開催する（参加1、500名）
平成元.1.12	創立百周年記念事業実行委員会を発足する
2.8.1	茨城県教育委員会教育長より「社団法人」の認可を受け水戸地方法務局に法人登記を完了する
2.11.17	創立百周年記念式典を水戸市民会館で開催 『茨城県教育会創立百周年記念誌』を発行する
3.3.8	地域研究シリーズ第1集、第2集合本を刊行する
3.5.9	3つの特別委員会（第1:地域教育 第2:課題研究 第3:教師研修）を設置し事業の推進を図る
3.10.15	地域研究シリーズ第3集を刊行する
4.10.20	地域研究シリーズ第4集、第5集合本を刊行する
4.11.17	「教育会のあらまし」を発行する
5.2.20	『基本を身につける学習』を刊行する
5.10.20	地域研究シリーズ第6集、第7集合本を刊行する
6.6.20	「本県における教師の意識調査」を刊行する
6.10.20	地域研究シリーズ第8集、第9集合本を刊行する
8.2.20	地域研究シリーズ第10集、第11集合本を刊行する
8.6.20	研究シリーズ第13集「本県における教師の意識調査Part2」を刊行する 研究シリーズ第14集「戦後教育50年の軌跡 一運動会の変遷一」を刊行する
8.10.31	県南地区教育振興集会を開催する
9.1.24	「茨城教育創造へのシンポジウム」を開催する
9.3.7	定款の一部変更を行い役員の章に名誉会長の項を挿入する
9.10.21	県西地区教育振興集会を開催する
9.12.15	『基本を身につける 中学5教科の学び方』を刊行する
10.3.3	年度末総会において正会員会費を2、500円とする案が議決される
10.3.16	定款の一部変更（会費）が茨城県教育長より認可される
11.10.20	22日まで第51回日本連合教育会研究大会茨城大会を開催する（参加1、555名）
12.10.27	県東地区教育振興集会をレイクエコー女性プラザにて開催する
13.5.31	平成12年度教育研究論文集を刊行する
13.10.10	「地域に根ざした教育実践集」を刊行する
13.10.31	県北地区教育振興集会を日立シビックセンターにて開催する
14.8.31	学校経営資料集「私はかく学校を経営する」を刊行する
14.11.19	「新しい時代の教育を考えるシンポジウム並びに講演会」を水戸市総合教育研究所にて開催する
16.2.20	「なめらかな幼小の連携を目指して」を刊行する
16.6.20	創立百二十周年記念事業「教育研究論文集」を刊行する
16.8.9	第3次地域教育振興委員会（読書活動）を設置する
16.11.17	地域教育振興事業（水戸市教育会との共催）「こどもの幸せを考える」講演会（講師：教育学博士 堀川賢壽先生）を水戸市総合教育研究所にて開催する
16.11.27	地域教育振興事業（日立市教育会との共催）「子どもの目線」講演会（講師：教育評論家 尾木直樹先生）を日立市民会館にて開催する
17.8.10	地域教育振興集会支援事業（稲敷市教育会との共催）「他人の心が分かる脳の不思議」講演会（講師：脳科学者 茂木健一郎先生）を稲敷市あずま生涯学習センターにて開催する
17.8.21	地域教育振興集会支援事業（常陸大宮市教育研究会との共催）「夢への挑戦」講演会（講師：元スピードスケート選手 堀井学先生）を常陸大宮市文化センターにて開催する
18.2.20	第3次地域教育振興委員会（読書活動）検討報告会を開催 報告書「本に親しむ子を育てる一多彩な支援の創出をめざして」を刊行する
18.3.16	県から定款の一部変更が許可される
18.4.1	第4次地域教育振興委員会（食生活・食習慣に関する指導）を設置する
18.8.11	地域教育振興集会支援事業（鹿島地区教育会との共催）「教育とは希望を育てること」講演会（講師：教育評論家 坂本光男先生）を鹿島勤労文化会館にて開催する
18.11.19	地域教育振興集会支援事業（筑西市教育研究会との共催）「筑西市教育の集い」講演会（講師：童謡歌手 坂入恵美・真紀デュオ）を明野公民館にて開催する
19.8.12	地域教育振興集会支援事業（古河市教育会との共催）「美しい地球を子どもたちに」講演会（講師：NPO法人 高木善之先生）をとねみどり館にて開催する
19.12.22	地域教育振興集会支援事業（常陸太田市教育研究会との共催）「僕の30年」講演会（講師：作曲家 マシコタツロウ先生）を常陸太田市民交流センターにて開催する
20.2.25	第4次地域教育振興委員会（食生活・食習慣に関する指導）検討報告書「生活リズムをつくる一望ましい生活習慣の育成のために食に関する指導をいかに進めるか」を刊行する

- 平成20. 7. 23 地域教育振興集会支援事業（行方地区教育会との共催）「子どもの危機 教育の未来」講演会（講師：教育評論家 尾木直樹先生）を行方市文化会館にて開催する
21. 2. 20 地域教育振興集会支援事業（ひたちなか市教育会との共催）「夢の探し方」講演会（講師：評論家 江川紹子先生）をひたちなか市文化会館にて開催する
21. 6. 20 平成20年度教育論文集を刊行する
23. 3. 11 14時46分宮城県東南東沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生 当地震によってもたらされた災害が「東日本大震災」と名づけられる
23. 4. 1 3.11東日本大震災の被害により第63回日本連合教育会研究大会茨城大会をつくば市（つくば国際会議場）開催に変更する
23. 8. 10 『みちしるべー後輩に託す応援歌』を出版する
23. 8. 18 19日まで第63回日本連合教育会研究大会茨城大会（つくば国際会議場）を開催する（参加1、234名）
23. 11. 10 「第63回日本連合教育会研究大会茨城大会集録」を発行する
24. 5. 平成24・25年度教育論文を募集する
25. 6. 6 第5次地域教育振興委員会（働くことに夢をもつ子どもの育成）を設置する
26. 2. 13 茨城県PTA連絡協議会を構成団体として承認する
26. 4. 1 水戸地方方法務局への登記完了をもって「一般社団法人 茨城県教育会」として再出発する
26. 6. 20 平成24・25年度教育論文集を電子ブックとしてウェブ上に掲載する
26. 8. 31 第5次地域振興委員会検討報告書「小学校からのキャリア教育の充実をはかるために」を刊行する
26. 10. 21 教育講演会「どうなる日本の教育」（講師：内閣府教育再生実行会議委員 貝ノ瀬滋先生）を水戸市総合教育研究所・視聴覚ホールにて創立百三十周年記念事業として開催する
26. 11. 20 「第1回小学校のキャリア教育推進協議会（3年計画の第1年次）」（講師：筑波大学教授 藤田晃之先生）を創立百三十周年記念事業として開催 第5次地域教育振興委員会検討報告書の趣旨を県内各小学校に広める機会とする
27. 10. 20 教育講演会「あすなろの教師生活～夢と希望と自信と自負と」（講師：日本連合教育会会長 後藤正幸先生）をつくば国際会議場にて開催する
27. 11. 27 「第2回小学校のキャリア教育推進協議会（3年計画の第2年次）」（講師：筑波大学教授 藤田晃之先生）を開催する。
28. 3. 31 公益目的支出計画実施完了確認書が県知事より送付される
28. 8. 8 「第3回小学校のキャリア教育推進協議会（3年計画最終年次）」（講師：筑波大学教授 藤田晃之先生）を開催する
28. 11. 25 教育講演会「これからの学校をどのようにつくっていけばよいか」（講師：茨城大学教育学部長 生越達先生）を茨城教育会館にて開催する
29. 11. 22 教育講演会（3年計画の第1年次）『次世代の学校』づくりと新教育課程」（講師：文部科学省視学委員 貝ノ瀬滋先生）を茨城教育会館にて開催する
30. 10. 1 新規事業「平成30年度若手教員実践記録」募集 応募総数70点を数える
30. 11. 22 教育講演会（3年計画の第2年次）「新学習指導要領と新しい教育動向」（講師：文部科学省視学委員 貝ノ瀬滋先生）を茨城教育会館にて開催する
- 令和元. 8. 1 「若手教員実践記録」募集事業に係る研修会「優秀実践に学ぶ会」（講師：茨城大学教職大学院教授 生越達先生）を茨城教育会館にて開催する
- 元. 9. 30 併設していた南茨城教育会出版を解散し本会の収益事業として展開する
- 元. 11. 20 教育講演会（3年計画の最終年次）「持続可能な学校づくりと地域づくり」（講師：文部科学省総合教育政策局専門職 西祐樹先生）を茨城教育会館にて開催する
2. 2. 28 文部科学事務次官通知「新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業について」により全国の学校が6月上旬まで一斉休校する
2. 5. 20 新型コロナウイルス感染症対策のため定時総会を書面表決方式に変更して実施する
また、様々な事業を中止または形態を変えて一部実施する
2. 8. 20 第72回日本連合教育会研究大会香川大会が新型コロナウイルス感染症対策として1年延期となる
2. 10. 1 「令和2年度若手教員実践記録」募集 募集範囲を高校、特別支援学校にまで広げ応募総数が20点（うち高校、特支校3点）を数える
3. 5. 19 新型コロナウイルス感染症対策のため定時総会を書面表決方式にて実施する
3. 11. 1 教育講演会「学校の社会化」（講師：笠間市教育委員会教育長 小沼公道先生）を茨城県水戸生涯学習
4. 5. 19 3年ぶりに対面開催で定時総会を実施する（来賓の臨席と表彰はなし）
4. 8. 1 「若手教員実践記録」募集事業に係る研修会「優秀実践に学ぶ会」（講師：茨城大学教職大学院教授 生越達先生）を茨城教育会館にて開催する
4. 10. 1 「令和4年度若手教員実践記録」募集募集範囲を幼稚園・こども園にまで広げ応募総数が34点を数える
教育講演会「コミュニティ・スクールと教育イノベーション」（講師：笠間市教育委員会教育長 小沼公道先生）を茨城県水戸生涯学習センター分館にて開催する。

令和5年度構成団体代表者または事務担当者名簿（令和5年5月1日現在）

（敬称略）

令和5年度 構成団体代表者または事務担当者名簿

	構成団体名	代表者／担当者	勤務校	役職	郵便番号	住所	電話番号
(1) 郡市教育会							
1	水戸市教育会	古橋 賢治	水戸市立第三中学校	校長	310-0831	水戸市朝日町2882-1	029-224-5508
2	笠間市教育研究会	佐々木 英治	笠間市立岩間第三小学校	校長	319-0208	笠間市市野谷1542-19	0299-45-6168
3	ひたちなか市教育会	片岡 幸恵	ひたちなか市立三反田小学校	校長	312-0021	ひたちなか市三反田3065	029-272-3443
4	常陸大宮市教育研究会	藤田 雅久	常陸大宮市立上野小学校	校長	319-2143	常陸大宮市根本231	0295-52-0308
5	那珂市教育会	高橋 祐子	白鳥学園 那珂市立瓜連小学校	校長	319-2102	那珂市瓜連1296	029-296-0021
6	小美玉市教育会	八木 健	小美玉市立小川北義務教育学校	校長	311-3412	小美玉市川戸1347-1	0299-58-2544
7	東茨城郡教育会	鈴木 勝	城里町立常北中学校	校長	311-4304	城里町下青山10	029-288-2025
8	那珂郡東海村教育研究会	仁田 稔	東海村立白方小学校	校長	319-1106	東海村白方2009	029-282-2680
9	久慈郡大子町教育会	後藤 順子	大子町立生瀬小学校	校長	319-3511	大子町高柴1974	0295-76-0004
10	日立市教育研究会	高島 幸浩	日立市立金沢小学校	校長	316-0015	日立市金沢町5-2-1	0294-34-1968
11	常陸太田市教育会	萩谷 正教	常陸太田市立櫻初小学校	校長	313-0025	常陸太田市櫻町929	0294-74-3482
12	高萩市教育研究会	飯沼 幸則	高萩市立松岡小学校	校長	318-0003	高萩市下手綱43	0293-22-2430
13	北茨城市教育会	飯塚 浩之	北茨城市立精華小学校	校長	319-1541	北茨城市磯原町磯原4-36	0293-42-0328
14	鹿嶋市教育会	山田 岳男	鹿嶋市立中野東小学校	校長	311-2221	鹿嶋市荒野1221	0299-69-0108
15	潮来市教育会	飯島 順	潮来市立延方小学校	校長	311-2442	潮来市小泉2090	0299-66-2076
16	神栖市教育会	谷田川 浩之	神栖市立神栖第二中学校	校長	314-0145	神栖市平泉東1-60-1	0299-92-0652
17	行方市教育会	金田 正浩	行方市立麻生中学校	校長	311-3836	行方市南327-3	0299-80-8070
18	鉾田市教育会	宮内 芳孝	鉾田市立鉾田南小学校	校長	311-1515	鉾田市畑田1059-1	0291-32-9333
19	土浦市教育会	塚谷 千穂	土浦市立都和小学校	校長	300-0061	土浦市並木五丁目4826-2	029-831-1510
20	石岡市教育会	高栖 弘明	石岡市立小幡小学校	校長	315-0155	石岡市小幡4080	0299-42-3502
21	龍ヶ崎市教育会	唯根 りか	龍ヶ崎市立松葉小学校	校長	301-0043	龍ヶ崎市松葉2-9	0297-66-4439
22	取手市教育会	富岡 富美	取手市立桜が丘小学校	校長	300-1525	取手市桜が丘2-17-1	0297-82-7791
23	牛久市教育会	五十嵐 信治	牛久市立牛久南中学校	校長	300-1217	牛久市さくら台1-73-1	029-873-5886
24	つくば市教育研究会	若山 隆男	輝翔学園つくば市立谷田部中学校	校長	305-0861	つくば市谷田部6100	029-836-0008
25	守谷市教育会	片岡 正美	守谷市立愛宕中学校	校長	302-0109	守谷市本町4325-2	0297-48-6601
26	稲敷市教育会	大谷 次男	稲敷市立東中学校	校長	300-0736	稲敷市八千石77	0299-79-2206
27	かすみがうら市教育会	中里 憲一	かすみがうら市立薮ヶ浦南小学校	校長	300-0134	かすみがうら市深谷3660-1	029-897-1231
28	つくばみらい市教育会	大藤 正晴	つくばみらい市立伊奈小学校	校長	300-2337	つくばみらい市谷井田2047	0297-58-1143
29	稲敷郡教育会	宮崎 淳司	阿見町立阿見第一小学校	校長	300-0335	阿見町岡崎3-19	029-887-5781
30	北相馬郡利根町教育会	岡崎 学	利根町立利根中学校	校長	300-1604	利根町横須賀1277	0297-68-2855
31	古河市教育会	石塚 浩司	古河市立三和中学校	校長	306-0112	古河市東山田472	0280-76-0133
32	結城市教育会	斎藤 紀子	結城市立城南小学校	校長	307-0054	結城市城南1-11	0296-32-3003
33	下妻市教育会	澤 勝彦	下妻市立上妻小学校	校長	304-0005	下妻市半谷426	0296-43-5885
34	常総市教育会	本橋 正雄	常総市立大生小学校	校長	303-0017	常総市平町415-1	0297-22-0271
35	筑西市教育会	上野 佐知子	筑西市立竹島小学校	校長	308-0805	筑西市稲野辺26	0296-22-3789
36	坂東市教育会	小林 和彦	坂東市立生子菅小学校	校長	306-0504	坂東市生子2219	0280-88-0001
37	桜川市教育会	斉藤 陽枝	桜川市立桜川中学校	校長	300-4422	桜川市真壁町亀熊570	0296-55-0667
38	結城郡八千代町教育会	宮澤 和弘	八千代町立下結城小学校	校長	300-3561	八千代町平塚3740	0296-48-0019
39	猿島郡教育会	飯田 正二	五霞町立五霞西小学校	校長	306-0313	五霞町元栗橋1072	0280-84-0004
(2) 茨城大学附属学校・園							
	毛利 靖	茨城大学教育学部附属中学校	校長	310-0056	水戸市文京1-3-32	029-221-5802	
1	附属幼稚園	茨城大学教育学部附属幼稚園	園長	310-0011	水戸市三の丸2-6-8	029-224-3708	
2	附属小学校	茨城大学教育学部附属小学校	校長	310-0011	水戸市三の丸2-6-8	029-221-2043	
3	附属中学校	茨城大学教育学部附属中学校	校長	310-0056	水戸市文京1-3-32	029-221-5802	
4	附属特別支援学校	茨城大学教育学部附属特別支援学校	校長	312-0032	ひたちなか市津田1955	029-274-6711	
(3) 茨城県高等学校長協会							
	白土 毅	茨城県立石岡第一高等学校	校長	315-0001	石岡市石岡1-9	0299-22-4135	
(4) 全国幼児教育研究協会 茨城支部							
	斎須 久依	茨城大学教育学部附属幼稚園	副園長	310-0011	水戸市三の丸2-6-8 茨城大学教育学部附属幼稚園内	029-224-3708	
(5) 県内指導主事							
	岩城 和久	茨城県水戸教育事務所 学校教育課長	学校教育課長	310-0802	水戸市掘町1-3-1 水戸合同庁舎6階	029-227-4451	
(6) 県内社教主事							
	田山 善堂	茨城県教育庁総務企画部 生涯学習課 振興担当課長補佐	振興担当課長補佐	310-8588	水戸市笠原町978-6	029-301-5318	
(7) 茨城県PTA連絡協議会							
	畠山 佳樹		会長	310-0011	水戸市三の丸1-5-38 県三の丸庁舎3階	029-227-4779	

一般社団法人 茨城県教育会
令和5年度定時総会要項

令和5年5月24日発行

〈編集・印刷・発行〉

一般社団法人 茨城県教育会

会長 鹿志村 則男

〒310-0911

茨城県水戸市見和1丁目356番地の2

茨城県水戸生涯学習センター・分館2階

電話 029-221-2747

FAX 029-226-4337

E-mail kyouikukai@ibk-kyouiku.or.jp

